かていすう

令和８年度９月号

らいぶらりーにゅーす



さいたま市立東宮下小学校図書館

２学期が始まりました。学習も本格的になり、稲刈り、修学旅行、運動会と行事も目白押しです。忙しい毎日ですが、２学期もルールを守って、学校図書館をたくさん利用してください。

林 明子さん



７月１日に絵本作家の林 明子さんが亡くなりました。林さんは、『こんとあき』『はじめてのおつかい』など多くの絵本や読み物のさし絵で生き生きとした表情豊かな子どもを描きました。「本のワンダーランド」では東宮下小学校で所蔵している林さんの作品を展示しています。この機会にぜひ手にとってみてください。

『あさえとちいさいいもうと』『いもうとのにゅういん』『とんことり』『はじめてのおつかい』
以上4作品　筒井頼子／作　林 明子／絵　福音館書店(E)【ランド】

『びゅんびゅんごまがまわったら』 筒井頼子／作　林 明子／絵　童心社(913)【ランド】

『こんとあき』(E)『まほうのえのぐ』(E)『はじめてのキャンプ』(913)
以上3作品　林 明子／作　福音館書店【ランド】

『きょうはなんのひ』 瀬田貞二／作　林 明子／絵　福音館書店(E)【ランド】

『もりのかくれんぼう』 末吉暁子／作　林 明子／絵　偕成社(E)【ランド】

『魔女の宅急便』 角野栄子／作　林 明子／絵　福音館書店(913)【城】























《新しく入ってきた本》

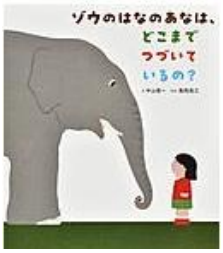
「時間割男子」や「放課後ミステリクラブ」など人気シリーズの新刊が入ってきました。この他新しく入った本の中から、おすすめの本を紹介します。

『いいたいことがありすぎます！』 工藤順子／文　金の星社(913)【ランド】



１年生のりんのとなりのせきはひろきくん。なんでも思ったことをいいます。きょうは「学校あきたからやめよっかなー」ですって。反対にりんはいいたいことがいえません。何かいおうとすると、のどのおくでことばが石みたいにかたくなってつっかえてしまうのです。

『ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？』



高岡昌江／ぶん　あすなろ書房(489)【ランド】

人間のはなにはあなが２つあって、空気をすったり出したりにおいをかいだりします。とっても長いゾウのはなは、それだけではなく水をのんだりごはんをたべたりといった身のまわりのことや、なかまとのあいさつやじょうほう交かんなどたいせつなはたらきをします。ゾウは、はなで生きているのです。

『しかたなし日記』 市川宣子／作　童心社(913)【城】



ものごとがうまくいかなかったら、「しかたない」と思ってしまえば平和な気持ちでいられる、と思って「しかたなし日記」を書き始めたゆう、なこ、こうの３人。でも全部それでいいのかな。「しかたない」って、あきらめるってこと？かんぺきはない毎日を「しかたない」を上手につかってくらしていくには・・・。



『池江璃花子』 池江璃花子／語り　北川チハル／文　世界文化社(289)【城】

オリンピック代表として期待される中、白血病を発症した池江選手。しかし２年後この大病を克服し再び世界の舞台へと返り咲き、今も日本競泳界のエースとして挑戦を続けています。奇跡の復活の裏には周囲の支えと彼女自身の不屈の努力がありました。彼女のジュニア時代から現在までをたどりながら、目標に向かって努力し続ける池江選手の姿勢に勇気をもらえる１冊です。

『それ犯罪かもしれない図鑑』 金の星社(320)【城】



「落書きして思い出を残そう」「バナナの皮で転ぶか実験だ」「ぜったいにいわないでっていわれたけれど・・・。」軽い気持ちでとった行動が罪に問われることがあります。イラストと詳しい解説でどんな行動が犯罪になるかがよくわかる本です。知識を味方につけて安全安心な生活を送りましょう。

『がんばれ！田んぼマシーン』 池田菜津美／文　新日本出版社(614)【城】



トラクターに様々な付属装置を付けてあぜぬり、田おこし、代かき。田植え機で田植えをしたら、夏の間は草刈り機や溝切り機が稲の成長を助けます。そして収穫の時にはコンバインが登場します。田んぼの農作業で活躍するマシーンの仕事ぶりをたくさんのカラー写真で詳しく紹介しています。

【城】→「本の城」にあります。【ランド】→「本のワンダーランド」にあります。